

3 念入りなお手入れ

ウォシュレット本体・便座・便ふたのお手入れ

●便座・便ふたが取りはずせますので、すみすみまで掃除できます。

(図はF4A)

便座・便ふたの取りはずしかた

① 電源プラグを抜く

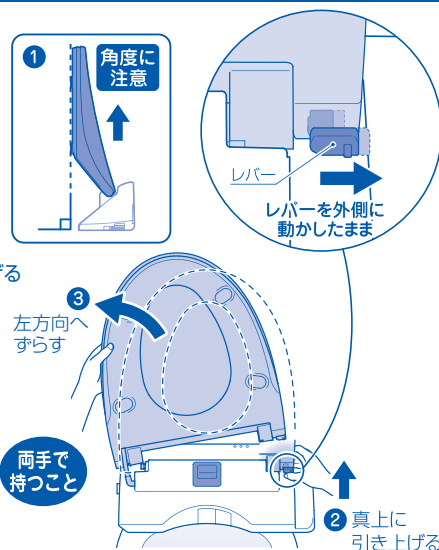
※便座・便ふたを取りはずす前に安全のため電源プラグを抜いてください。また、抜いた電源プラグに水がかからないようにしてください。

② 便座・便ふたを取りはずす

- ① 便座・便ふたを両手で持ち図のように立てる
 - ② 右下のレバーを外側に動かしたまま、真上に引き上げる
 - ③ 左方向へずらす
- ※便座コードの長さは約8cmです。
※無理に引っ張ったりしないでください。
(断線の原因になります。)

アドバイス

- 取りはずした便座・便ふたは傷つかないように置いてください。
- 便座・便ふたを取りはずして掃除するときは、ウォシュレット本体を取りはずさないでください。
(床や便器内に落とし、故障の原因になります。)

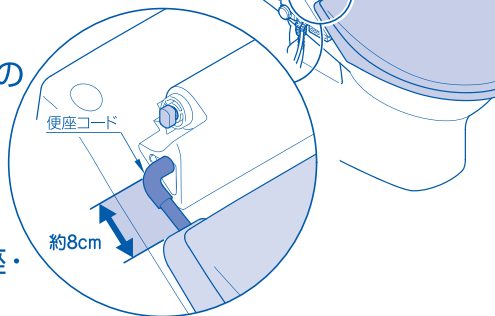


③ 取りはずした便座・便ふたを図のように便器の上に置く

※便座コードの長さは約8cmです。
※無理に引っ張ったりしないでください。
(断線の原因になります。)

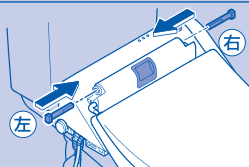
④ ウォシュレット本体および便座・便ふたの掃除をする

☞ お手入れのしかた 45ページ



便座ピンが抜けたとき!

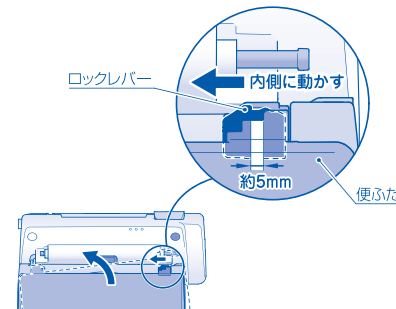
便座ピンを「カチッ」と音がするまで内側に押し込む
※ 確実に押し込まないと便座・便ふたの取り付けができません。



便座から便ふたをはずすことができます!

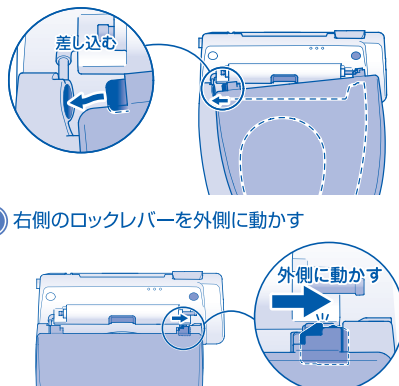
【取りはずしかた】

- ① 右側のロックレバーに指をかけて、内側に動かす(約5mm)
- ② 便ふたを便座から取りはずす
※便ふたからロックレバーは、はずれません。



【取り付けかた】

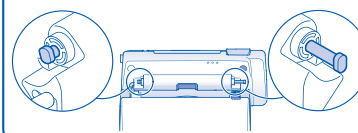
- ① 便ふたを左方向から便座に重ね合わせる
- ② 右側のロックレバーを外側に動かす



便座・便ふたの取り付けかた

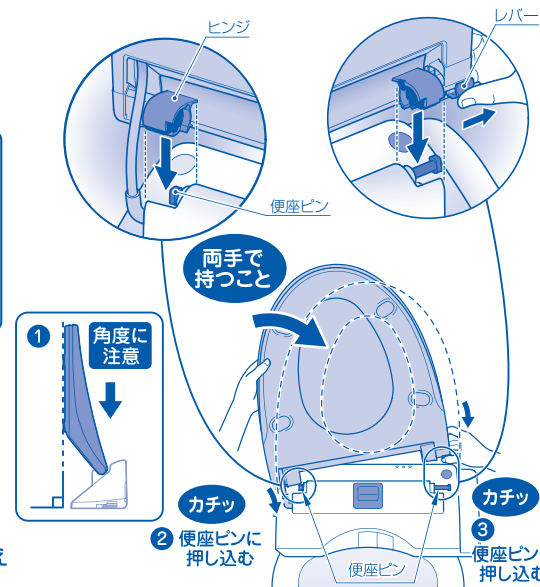
① 便座ピンが図のようになっていることを確認する

- 少し奥側へ傾いた状態になります。
- 確実に奥まで差し込んでください。



② 便座・便ふたを取り付ける

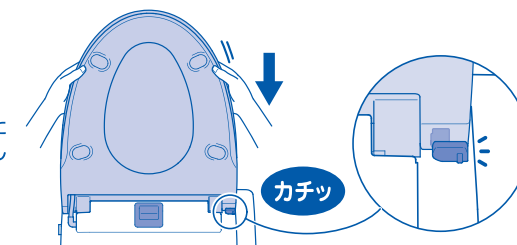
- ① 図のように立てる
 - ② 左側のヒンジを便座ピンに押し込む
 - ③ 右下のレバーを外側に動かしたまま、便座ピンに押し込む
- レバーの位置が内側に戻ります。
 - ※斜めに押し込んだり、無理な力を加えないでください。
 - ※便座コードがねじれたまま取り付けしないでください。



③ レバーの位置が内側に戻っていることを確認する

- 内側に戻っていない場合は便座・便ふたを持って「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

④ 電源プラグを差し込む



お手入れ

ウォシュレット本体と便器のすき間のお手入れ

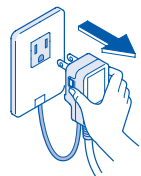
●ウォシュレット本体をはずして、便器の上面や本体底面も掃除できます。月に1度が目安です。

(図はF4A)

取りはずしかた

① 電源プラグを抜く

※ウォシュレット本体を取りはずす前に安全のため電源プラグを抜いてください。
また、抜いた電源プラグに水がかからないようにしてください。



② ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引く

※給水ホース・電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。



③ 掃除をする

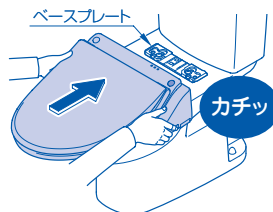
☞お手入れのしかた 45ページ

取り付けかた

① ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる

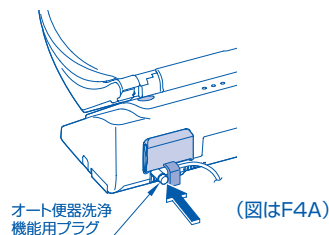
② 便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



③ オート便器洗浄機能用プラグが奥まで差し込まれていることを確認する

●右図の矢印方向に押し込んでください。
※正しく差し込まれていないと、オート便器洗浄しません。



(図はF4A)

④ 電源プラグを差し込む

清潔・快適を保つ

4 定期的なお手入れ

電源プラグのお手入れ・点検

●電源プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

① 電源プラグを抜く

② 掃除をする

●電源プラグの刃などについたほこりをかわいた布で取り除いてください。

③ 電源プラグを差し込む

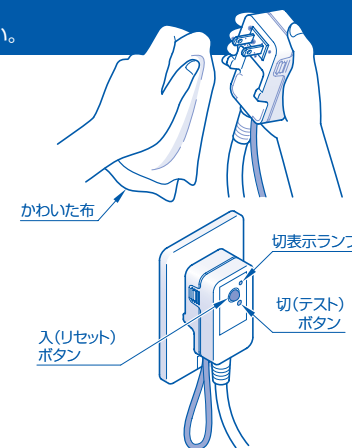
●根元まで確実に差し込んでください。

④ 点検をする

「切(テスト)」ボタンを押す
(切表示)ランプが点灯します。
「入(リセット)」ボタンを押す
(切表示)ランプが消灯します。

以上のように作動すれば正常です。

※「切表示」ランプが点灯しているときは通電されません。点検後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。
※電源プラグを入れて(または電源プラグの「入(リセット)」ボタンを押して)約10秒～約60秒間は準備運転を行うため、その間、便ふたは「オート開」しません。(やわらかライトが点滅してお知らせします。)リモコンで操作してください。



脱臭フィルターのお手入れ

●においが気になる場合は、ウォシュレット本体をはずして脱臭フィルターの掃除を行ってください。月に1度が目安です。

取りはずしかた

① 電源プラグを抜いてウォシュレット本体を取りはずす

☞ウォシュレット本体の取りはずしかた 48ページ

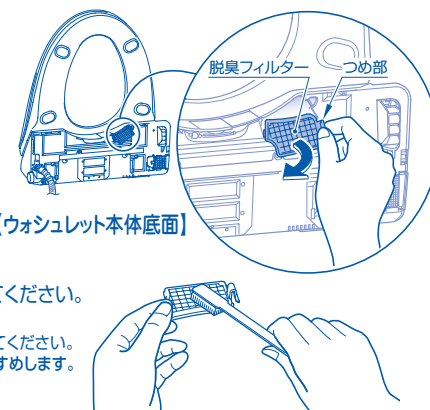
② 脱臭フィルターのつまめ部を押して、手前に引く

【ウォシュレット本体底面】

③ 掃除をする

●フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。

アドバイス
●フィルターは水洗いできますが、取り付ける前に水気を取ってください。
●フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。
☞交換部品/別売品 66ページ



取り付けかた

① 脱臭フィルターの左側をウォシュレット本体に引っ掛け、右側にあるつまめ部を「カチッ」と音がするまで確実に取り付ける

※フィルターなしでのご使用は絶対にしないでください。
(故障の原因になります。)

② ウォシュレット本体を取り付けて電源プラグを差し込む

※オート便器洗浄機能用プラグが奥まで差し込まれていることを確認してください。
☞ウォシュレット本体の取り付けかた・プラグの差し込みかた 48ページ

